

神代高等学校令和5年度 教科芸術科目書道 年間授業計画

教科：芸術科 書道：2 単位数：2 単位

対象学年組：第4学年A組

教科担当者：A組：蛭川

使用教材：書I 光村図書出版

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	仮名の成立と発達、仮名の種類	仮名の成立過程、および仮名の種類について理解する。	ワークシートへの記入	2
	仮名の成立過程、および仮名の種類について理解するとともにいろは歌を男手・草仮名・女手・平仮名を硬筆書写により文字の種類に慣れる。 用具・用材とその扱いというは歌	仮名の成立過程、および仮名の種類について理解するとともにいろは歌を男手・草仮名・女手・平仮名を硬筆書写により文字の種類に慣れる。 仮名筆の持ち方、使い方、手入れ方を習得する。硬筆で知った仮名のリズムを活かしているは歌の単体手本見て字形から、リズムを習得する。	ワークシートへの記入 作品の成果	2 2
	仮名の鑑賞と臨書	仮名作品の鑑賞と臨書から、仮名の書美を知る。また、連綿方法を習得する。	作品の成果	2
5月	用具・用材 姿勢・執筆	書道の学習に必要な用具・用材について理解し丁寧に扱う態度を養う。楷書の基本点画の名称を知る。書体を知り、五体字類を使い各自姓名漢字三を調べワークシートに記入する	ワークシートへの記入。授業に臨む姿勢態度	2
	用筆法	硯と各部位の名称を知り墨を磨るうえでの役割と合理的な磨り方を知る。また、濃墨による表現の効果、淡墨による表現効果を知る。硯、筆の手入れ方法を身に付ける	授業に臨む姿勢態度。半紙に表現した線などの成果	2
	書の変遷と時代背景 さまざまな楷書	執筆法、構え、用筆法による表現の違いを理解する。また代表的な楷書がどのような用筆法や結構法で表現されたのかを考える。	ワークシートへの記入。授業に臨む姿勢態度、筆で表	2
6月	漢字仮名交じりの書	これまでの学習で習得した用筆法を使い、自ら選んだ、漢字仮名交じり文を使い自己表現する。	余白の取り方、用筆法による表現方法を正しく理解し、表現の狙いが鑑賞者に伝える事ができたか等作品の成果	2
	用筆法 さまざまな楷書の鑑賞と臨書のための基本点画	楷書にふさわしい用筆法を理解し、基本点画を名称とともに書法を習得する。これまでの机上学習と表現の実技学習をもとに用筆法・結構法を分類し印象の違いを手掛かりに鑑賞方法を理解する。	唐時代の楷書法の理解と表現。三大家の表現の違いを言語表現する。	2
	基本点画	用筆法による表現の違いを実際に筆を動かして理解する。また代表的な楷書の基本点画の書法を習得する。	字形にとらわれない状態で基本点画を習得する。	2
7月	楷書の成立と楷書の代表作品の比較・唐の四大家の書	楷書の成立を理解し唐の四大家の書風をはじめさまざまな書風の作品があることについてを知りその用筆方や字形、表現の特徴と書法を理解し、結構法や線の質の違いから印象の違いを知る。	作品の成果	2
	楷書の成立と楷書の代表作品の比較・唐の四大家の書	楷書の成立を理解し唐の四大家の書風をはじめさまざまな書風の作品があることについてを知りその用筆方や字形、表現の特徴と書法を理解し、結構法や線の質の違いから印象の違いを知る。	作品の成果	2
9月	楷書の成立と楷書の代表作品の比較・唐の四大家の書	楷書の成立を理解し唐の四大家の書風をはじめさまざまな書風の作品があることについてを知りその用筆方や字形、表現の特徴と書法を理解し、結構法や線の質の違いから印象の違いを知る。	作品の成果	2
	楷書の成立と楷書の代表作品の比較・唐の四大家の書	楷書の成立を理解し唐の四大家の書風をはじめさまざまな書風の作品があることについてを知りその用筆方や字形、表現の特徴と書法を理解し、結構法や線の質の違いから印象の違いを知る。	作品の成果	2
	北魏の楷書	北魏の書の時代背景と作品の用筆を知り臨書する。	作品の成果	2
10月	行書の特徴	行書の成立について理解する。行書の特徴を知り芸術書、実用書の両方で広く用いられていることを理解する。基本点画ごとに捉えた特徴を、各自、姓名を小筆で行書表現することで書体理解をはかる。	練習から清書までの過程と成果	2
	行書の臨書と鑑賞	「集王聖教序」の臨書と鑑賞をとして行書の基本的な表現方法を習得する、単体行書にも文字間にもつながりがあることと、正しく筆路をたどれるように筆順にも気を付ける。	授業に臨む姿勢態度。練習から清書までの過程と成果。	2
	行書の臨書と鑑賞	「蘭亭序」の大意、王羲之について知り、臨書により行書の用筆法や、この作品から書聖たる所以を探る。四字句部分を半紙に臨書する。  半紙に臨書練習した語句を画仙紙縦に臨書作品として仕上げる。単なる半紙臨書とは違う余白、紙質に合わせた書法を習得する。	全文で20書かれている「之」を比較して気が付いたことを言語表現する。  臨書作品としてのまとめ方ができたか作品の成果。	2 2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	行書の臨書と鑑賞	手紙文である「風信帖」の臨書をとおして空海の書法や人物を知る。行書に分類される作品だが、草書も書かれているその理由を知り、草書部分の臨書により、次の文字への連絡筆法を習得する。	作品の成果	2
	行書の臨書と鑑賞	半紙に臨書練習した語句を画仙紙縦に臨書作品として仕上げる。単なる半紙臨書とは違う余白、紙質に合わせた書法を習得する。また、縦四字の連続で呼吸の長いリズムを習得する。	作品の成果	2
	行書の臨書と鑑賞	半紙に臨書練習した語句を画仙紙縦に臨書作品として仕上げる。単なる半紙臨書とは違う余白、紙質に合わせた書法を習得する。また、縦四字の連続で呼吸の長いリズムを習得する。	作品の成果	2
12 月	漢字仮名交じり文の古典的表現での創作	各自詩文を用意し構成を考え、古典的な仮名書美を意識した作品創作をする。		4
1 月	漢字仮名交じり文の古典的表現での創作	各自詩文を用意し構成を考え、古典的な仮名書美を意識した作品創作をする。完成した作品を鑑賞する。	作品の試書から清書までの過程と成果。作成した作品鑑賞の言語表現活動。	2
2 月	補習・補講	必要な生徒に補習・補講を行う。		
3 月				